

第6節 家内労働者の就業状況

(1) 家内労働者数 ～男女とも前年に比べ減少

厚生労働省「家内労働概況調査」によると、平成20年の家内労働者数は、17万1,705人で、前年に比べ9,491人の減少（前年比5.2%減）となった。

男女別にみると、女性は15万5,322人、男性は1万6,383人であり、前年と比べると、女性は8,728人（同5.3%減）、男性は763人（同4.5%減）の減少となっている。

類型別にみると、主婦や高齢者等世帯主以外の家族であって、世帯の本業とは別に家計の補助のため家内労働に従事する「内職的家内労働者」は16万1,644人、家内労働をその世帯の本業とする世帯主であって、単独で又は家族とともにこれに従事する「専門的家内労働者」は8,335人、他に本業を有する世帯主であって、本業の合間に単独で又は家族とともに家内労働に従事する「副業的家内労働者」は1,726人となっている。前年と比べると、「内職的家内労働者」は8,758人（同5.1%減）、「専門的家内労働者」は558人（同6.3%減）、「副業的家内労働者」は175人（同9.2%減）の減少となっている。

構成比（家内労働者総数に占める割合）をみると、女性が90.5%、「内職的家内労働者」が94.1%を占め、女性の内職的家内労働者が大多数を占めている（付表87）。

(2) 業種別家内労働者数、構成比 ～男女とも「繊維工業」が最も多い

平成20年における女性の家内労働者の従事する業種をみると、「繊維工業」が5万2,402人と最も多く、次いで「その他（雑貨等）」が2万6,285人、「電気機械器具」が2万6,903人となっている。構成比（女性の家内労働者総数に占める割合）は、「繊維工業」33.7%、「その他（雑貨等）」17.3%、「電気機械器具製造業」12.7%となり、これら3業種で女性の家内労働者全体の約6割を占めている。

男性も、「繊維工業」が5,102人と最も多く、次いで「その他（雑貨等）」が2,386人、「電気機械器具製造業」が1,659人となっている。構成比（男性の家内労働者総数に占める割合）は、「繊維工業」31.1%、「その他（雑貨等）」14.6%、「電気機械器具製造業」10.1%となり、これら3業種で約5割を占めている（付表88）。